

102-175

問題文

放出制御製剤に用いられる添加剤に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. エチルセルロースは、水に不溶であり、徐放性のコーティング剤として用いられる。
 2. 乳酸・グリコール酸共重合体は、生体内分解性であり、持続性注射剤用マイクロスフェアの基剤として用いられる。
 3. ヒドロキシプロピルセルロースは、水和によりゲル化するため、徐放性のマトリックス基剤として用いられる。
 4. ヒプロメロースは、pH5以下の水溶液には溶解しないため、腸溶性の被膜剤として用いられる。
 5. エチレン・酢酸ビニル共重合体は、経皮治療システムの放出制御膜基剤として用いられる。
-

解答

4

解説

ヒプロメロース は、フタル酸エステルになるとコーティング剤です。いいかえるとフタル酸エステルでなければコーティング剤ではありません。単なるヒプロメロースは増粘剤、結合剤などとして使用されます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 1,2,3,5 は正しい記述です。

以上より、正解は 4 です。

参考)